

2023年 第29回愛知県支部連合会総会 会議次第

2023. 2. 12

愛旅連ビル会議室

司会 高津 章会計

1. 開会の挨拶

小林壮行会長

2. 来賓の挨拶

日本将棋連盟東海普及連合会

中山則男事務局長

3. 2022年の活動のまとめ及び2023年の課題

福島隆夫幹事長

4. 2022年度会計報告及び2023年度予算（案）

高津 章会計

5. 役員体制について

6. 活動報告及び質疑・意見

7. 配付資料

(1) 2022年の活動のまとめ及び2023年の課題

(2) 2022年度会計報告及び2023年度予算（案）

(3) 愛知県支部連合会役員体制

(4) 愛知県支部連合会支部一覧

(5) 愛知県支部連合会規程

(6) 行事实績表（2022年）・行事予定表（2023年）

(7) 将棋関係資料（チラシ）

配付資料（１）

【2022年の活動のまとめ及び2023年の課題】

1 2022年の活動のまとめ

2022年2月13日に、第28回愛知県支部連合会総会が37名の参加により、愛旅連ビル3階会議室において開催されました。主な議題は「2021年の活動のまとめ及び2022年の課題」、「2021年度の会計報告及び2022年度予算」、「役員体制について」でした。

また、従来は、支部対抗戦等の実施日に合わせて、また懇親を深める意味合いもあって、支部対抗戦等開催の夕方に懇親会を兼ねて総会を実施してまいりました。そうした経緯がありますが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、総会のみで開催とさせていただきました。

（今回の第29回総会も同様の理由から、総会開催のみとさせていただきました。）

ご案内のとおり、新型コロナウイルス感染という不測の事態により、様々な取組みに大きな影響を及ぼし、多くの将棋イベント、各種将棋大会、将棋教室、講座等が中止・延期・縮小となりました。

将棋イベント、大会については、主催者の対応方針が前提となりますので、中止・延期という状況もありますが、多くの大会では感染対策を講じた上で再開するケースも多くなりました。その状況は配付資料（6）にまとめたとおりです。

また、大会によってはオンライン対局を実施しているケースもあります。

具体的には、名古屋城こども王位戦については、2020年より、リアル大会とオンライン大会を実施し、両大会の優勝者が名古屋城での表彰式の際に対戦するという形式となっています。2022年も同様な形式で実施されています。

また、将棋日本シリーズテーブルマークこども大会では、みんなのオンライン対局夏が2022年8月20日（土）に実施され、1627名が参加しました。更にみんなのオンライン対局冬が2022年12月10日（土）に実施され、中学生も参加対象となり1988名が参加しています。

教室・例会等についても、感染防止対策を講じた上で適宜実施されてきており、オンラインによる指導というケースもみられます。

また、（公社）日本将棋連盟東京本部では、学校教育への将棋導入推進事業における学校への指導オンラインでプロ棋士が対応実施できるように取り組んでいます。

このようなオンラインでの対局、指導等は今後も実施・拡充されていくことが想定され、新たな生活様式として定着しているところです。

将棋の普及推進という面では、新型コロナウイルス感染状況は、引き続き厳しい状況ですが、感染対策を講じた上で、できる範囲で取組みを進めるとともに、またいつでも従来のような大会等を再開できるような態勢を講じていく必要があります。

そうした中、瀬戸市出身の藤井聡太四冠（竜王・王位・叡王・棋聖）が2022年2月12日には王将位を獲得し、19歳6か月で史上最年少五冠を達成するとともに2022年3月には順位戦ではA級に昇級を果たしました。史上最年少の名人位獲得も視野に入るなど更なる活躍を期待したいと思います。

（1）新しい支部の拡大 40支部を目標

2023年1月1日現在 39支部 約1300名（個人会員含む）

1995年に13支部で活動開始した愛知県支部連合会は、現在39支部、約1300名の会員に発展してきました。

これは1996年から2月の総会、10月の支部長・将棋指導員合同会議、県連役員会毎月1回（1995年2月から2023年1月まで現在336回）、県連会報の発行（1995年3月から2023年2月現在336号）など組織を強化しつつ将棋の普及活動を続けてきた成果といえます。

(2) 岐阜・三重県支部連合会等との連携強化

2011年4月に設立された東海普及連合会は、プロとアマチュアの共同普及組織としての役割を發揮して様々な取組みを進めています。また岐阜・三重県支部連合会とともに支部会員の拡大に向けて取組みを継続しています。（2008年12月から2カ月に1回定期的に会議を開催してきていますが、2020年では新型コロナウイルスの状況もあり、会議を中止している状況もあります。）

また、2022年10月1日には、齋藤裕也四段（杉本昌隆八段門下：三重県出身）が誕生いたしました。杉本門下では藤井聡太竜王に続いて2人目となるプロ棋士で今後の活躍が期待されます。

東海四県支部・支部会員数

（2022年9月1日現在）

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
支部数	39	10	7	20	645
支部会員数	1325	200	139	502	14477
個人会員数	39	2	10	13	634

東海四県将棋指導員数

（2022年9月1日現在）

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
棋道正師範	1	—	—	1	5
棋道師範	11	—	1	—	26
棋道指導員	21	7	5	1	105
将棋指導員	144	25	7	14	864
指導員補佐	9	1	1	1	37

(3) 将棋普及領域の拡大

児童館、支部教室に加えて寺院、学習塾（名進研）、ヤマダ電機、文化センター、幼稚園等で実施。新型コロナウイルス感染状況下では、中止・延期・規模縮小も相次ぎましたが、徐々に回復の状況となっています。

(4) 東海研修会

日本将棋連盟では、将棋を通じて健全な少年少女の育成を目指すための機関、また女流棋士養成機関として全国で6か所（関東研修会、関西研修会、東海研修会、九州研修会、北海道研修会、東北研修会）開催しています。

東海研修会については、これまで東海普及連合会が独自の運営で開催してきましたが、2020年4月からは、日本将棋連盟の運営となりました。会場も名古屋・栄の山岳会館から、名古屋・大須の万松寺ビルに移動しました。毎月2回、第2・第4日曜に定例開催となりますので、小学生が多く参加す

るイベント・大会はこの日程と重複しないように設定することが望めます。

(5) 栄将棋教室への協力ー東海地域の将棋のメッカとしての存在

2012年7月から水曜トーナメントを実施 20名程度の参加。

(月) = 月曜子供将棋塾 (火)・(金) = シニア・初心者対象指導 (木) = レディースセミナー

(土) = 子ども将棋スクール

★2022年の活動についての主な報告(詳細は配付資料(6)参照)

	開催日	曜日	行事名	場所
1	1月8日	土	第4回熱田こども将棋大会	熱田神宮文化殿
2	2月6日	日	第51回支部名人戦・支部対抗戦	港湾会館
3	2月13日	日	第28回愛知県支部連合会総会	愛旅連ビル会議室
4	2月13日	日	将棋指導者講習会	愛旅連ビル会議室
5	2月23日	水・祝	第47回公文杯小学生名人戦愛知県大会	港湾会館
6	3月21日	月・祝	名古屋市児童館講師団会議	栄将棋教室
7	4月3日	土	日本将棋連盟将棋指導員資格審査	桜華会館
8	4月29日	金・祝	アマチュア竜王戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
9	5月1日	日	全国小学生倉敷王将戦	名進研名駅校
10	5月14日	土	ねんりんピック名古屋市予選	高齢者福祉会館
11	5月29日	日	第2回杉本賞ソーネ子ども将棋大会	ソーネおおぞね
12	6月19日	日	名城大学杯将棋大会	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
13	6月25日	土	とよた将棋フェスタ2022	豊田市民文化会館
14	7月2日	土	文部科学大臣杯第18回小・中学校団体戦愛知県大会(小学校の部・中学校の部)	名古屋港湾会館
15	7月18日	月・祝	第76回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
16	8月2日	火	菊武学園杯愛知県中学生将棋選手権大会	名古屋産業大学
17	8月6日	土	名古屋城こども王位戦予選(リアル大会)	吹上ホール
18	8月7日	日	小牧将棋の集い	小牧市ふらっとみなみ
19	8月20日	土	J:COM 杯子ども将棋大会	名古屋国際会議場
20	8月21日	日	イオンモール天童杯争奪全国こども将棋王決定戦東海大会	イオンモール常滑
21	8月27日	土	瀬戸市こども将棋大会	瀬戸市文化センター
22	9月25日	日	名古屋城こども王位戦エキシビジョンマッチ	名古屋城本丸御殿
23	9月25日	日	第2回大曽根商店街通り将棋大会	大曽根商店街
24	10月1日	土	名古屋ふれあい将棋フェスタ in 松坂屋名古屋店	松坂屋南館8階ホール
25	10月1日	土	岡崎将棋まつりこども将棋大会	岡崎市役所分館
26	11月16日	日	テーブルマークこども将棋大会東海大会	ポートメッセなごや

2 2023年度の課題（取組みの目標）

将棋の普及推進を図っていくことについての取組み、方針等については、従前と大きく変わるものではありませんが、ご案内のとおり、2020年からの新型コロナウイルス感染拡大により、大会、イベント等の開催に大きな影響を与えたところであり、引き続きその対応に留意していく必要があります。

一方で、新型コロナ感染症法上の取扱いが本年5月8日から「5類」に移行する見通しです。しかしながら、すぐに従前どおりの対応ということも想定しにくい状況ですが、日本将棋連盟、自治体等の対応にも留意しながら取組みを進めていく必要があります。

こうした状況から、当面は、大会、イベント、教室等の普及活動については、引き続き感染防止対策を講じた上で、できる範囲で、無理のない取組みを進めていくこととなりますが、関係方面の取組みにも留意しながら、今後の対応を検討していくこととなります。

そうした中、オンラインでの対局、指導という形式も更に定着していくものと考えられます。一方、対面での大会、指導等というものはオンラインでは対応しきれない効果もあるのは事実です。

実施内容については新たな生活環境様式という視点も考慮しながら、大会等を実施できるような態勢も講じていく必要があります。

こどもたちへの将棋の普及という点では、県下のすべての市に支部があり、支部と将棋指導員のより細かなネットワークの形成とその中心に県支部連合会が存在する状況を構築していくことを大きな目標としていきたいと考えています。「県内どこに住んでいてもこどもが将棋を学べる環境の整備」を合言葉に普及を進めます。

また、公益社団法人となった日本将棋連盟の普及事業の前進のため、普及計画に基づく取組や将棋指導員資格取得の際の費用負担軽減を引き続き求めていきます。

2011年4月に設立された東海普及連合会と連携して活動し、愛知県支部連合会の普及活動が引き続き推進していきたいと考えています。

（普及活動の基本）

- (1) 東海普及連合会、岐阜県支部連合会、三重県支部連合会とともに新規支部の設置及び支部会員の拡大を図ります。（支部会員拡大推進委員会 毎月第三木曜日午後4時～）
- (2) 岐阜・三重県支部連合会との連携強化を軸に中部各県とも交流を広げます。
- (3) 普及指導員体制の充実と県支部連合会との連携強化を図ります。

2023年2月12日（日）将棋指導者講習会 2023年4月2日（日）将棋指導員資格審査

- (4) 児童館、学習塾、コミュニティセンター、カルチャーセンター等における将棋講座などへも講師の派遣を進めます。
- (5) 栄将棋教室（こども将棋スクール等）及び東海研修会への協力

中山則男六段の直接指導等を実施、東海研修会との関係からも各支部、指導員のご協力をお願いします。また、東海研修会については、日本将棋連盟が主体となって、毎月2回、第2・第4日曜に定例開催となりますので、小学生が多く参加するイベント・大会はこの日程と重複しないように設定することが望まれます。

（2023年の行事・大会）

配付資料（6）参照（未確定の行事・大会も含まれています。）